

事務事業評価(事前評価)シート【令和元年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	春国岱原生野鳥公園整備事業	事業番号	12048

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3	自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち	

2 事務事業の目的

目的	自然保護及び生物の多様性や自然の果たす役割の重要性は国際的に認識されており、ラムサール条約や生物多様性条約などの締約国が拡大する中、「根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター」はその核としての役割を果たしている。そのため、ネイチャーセンター等の各種環境整備について対応し、交流人口の増加を図ることを目的とする。
成果	ネイチャーセンターは、バードウォッチャーが多く訪れる主要な施設であることに加え、外国人利用者が増加していることから、本事業によりインバウンド対策はもとより環境整備等について対応し、交流人口の増加を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	29							
	30							
	31	① 春国岱木製案内看板作成(英語標記付き) ② ネイチャーセンター館内展示物の多言語標記(英語・簡体語)						
	32	① ネイチャーセンタートイレ洋式化 ② ネイチャーセンター合併浄化槽設置						
	33	① ネイチャーセンター学習林ロープコース設置など						
事業費と内訳	(単位:千円)	H29	H30	H31	H32	H33	総事業費	
	事業費			1,291	18,811	2,517	22,619	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			640			640
		地方債						
		その他			651	18,811	2,517	21,979
		一般財源						
	人員(人工)			0.25	0.25	0.25	0.75	
職員費(人員×7,693千円)			1,923	1,923	1,923	5,769		
総事業費			3,214	20,734	4,440	28,388		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H30)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
		根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター来館者数(毎年1.4%の増)	9,461人	10,232人
	ネイチャーセンター主催行事への参加人数(毎年4%の増)	124人	133人	158人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	インバウンド対策はもとより環境整備等について対応することにより、交流人口の増加が図られる。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない ネイチャーセンターは、バードウォッチャーが多く訪れる主要な施設であることに加え、外国人利用者が増加していることから、インバウンド対策はもとより環境整備等を図ることが求められている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が設置している施設であることから、市が実施すべきものである。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 外国人利用者が増加している中、特にインバウンド対策(外国語標記やトイレの洋式化)は緊急性は高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 関係団体とも協議しながら進めているため、手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 交流人口を高めるためのものであり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 自然保護及び生物の多様性や自然の果たす役割の重要性は国際的に認識されている中、インバウンド対策をはじめとした環境整備等に取り組む事業であることから、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、積極的な周知啓発、また外国人インバウンド対策を行うなど、来館者の増加に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかに事業推進を図るとともに、積極的な周知啓発、また外国人インバウンド対策を行うなど、来館者の増加に努める。